

(2) 養護教育教育課程編成管理講習会

盲・聾・養護学校及び特殊学級における教育課程の編成

管理について研究協議し、更に盲・聾・養護学校学習指導要領（中学部）の改訂の趣旨の徹底に努めた。

期 日	期間	会 場	参加者	研 修 内 容
6.18~19	2日	県立盲学校	10人	講話「教育課程の編成と管理」
6.23~24	〃	県立聾学校	21人	講話「盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領趣旨説明」
9.29~30	〃	郡山市中央公民館	101人	研究協議「心身障害児の実態に基づく教育課程の編成と管理」
10.22~23	〃	原町市文化センター	54人	
11.4~5	〃	白河合同庁舎	39人	
11.12~13	〃	いわき市内郷公民館	41人	
11.25~26	〃	会津若松市立第二中学校	52人	
12.2~3	〃	県立平養護学校	17人	
12.17~18	〃	安達町勤労青少年ホーム	71人	
1.13~14	〃	県立須賀川養護学校	19人	
		計	425人	

5 研究指定校

(1) 特殊教育教育課程研究指定校（文部省指定）

- ・学校名 いわき市立平第三小学校
- ・指定期間 昭和55年度・昭和56年度
- ・研究主題 「児童の実態に即した指導内容、方法に関する研究——言語による表現力を高めるための指導はどのようにしたらよいか——」

(2) 心身障害児理解推進研究指定校（文部省指定）

- ・学校名 福島市立福島第四小学校（発表55年10月29日）
郡山市立郡山第二中学校（発表55年11月20日）
- ・指定期間 昭和54年度・昭和55年度
- ・研究内容 「小学校及び中学校の児童生徒に、心身障害児に対する正しい理解と認識を深めさせるための指導の在り方についての研究」

- 家庭訪問、関係機関訪問の強化
- 自己理解の徹底
- 進路相談の充実
- 一貫した指導体制の確立

7 特別活動

(1) 卒業式関係

県立盲・聾・養護学校卒業生数

学 部 別	男	女	計
小 学 部	89	54	143
中 学 部	99	76	175
高 等 部	32	14	46
計	220	144	364

（注）盲学校の専攻科は、高等部に含む。

6 生徒指導・進路指導

(1) 生徒指導

心身障害児の教育は、平均的・画一的な取り扱いで済むことは、極めてまれである。したがって、生徒指導に当たっても学習指導要領の教育課程一般に示される指導上の配慮事項や養護・訓練のねらいや内容等に関係づけてとらえ実践するよう努力した。

- コミュニケーションに障害をもつ子供の理解
- 自主性、自律性の育成
- 学校、家庭、施設、病院等との共通理解にたった指導の充実
- 交流教育の推進

(2) 進路指導

重度・重複児がすべて、就学することにより、一層きめ細かな進路指導が必要になってきている。養護教育における進路指導のしめる割合は、非常に大きいという立場から教育活動全般にわたって配慮していかなければならない。

心身障害児の進路指導は、障害を克服して、社会参加をどういう形で実現してゆくかという課題を抜きにして考えられない。そのような観点に立ち、指導の充実に努力した。

- 情報の収集

卒業式開催日

月 日 学部別	卒業式開催日									
	3 1	3 2	3 12	3 13	3 14	3 16	3 17	3 18	3 19	3 20
小 学 部			2	2	7	1	1	1	1	2
中 学 部			1	1	6	1	1	1	1	1
高 等 部	1	1		1						

(2) 修学旅行

県立盲・聾・養護学校

学 部	行 先				泊 数			人数
	仙台方面	東京方面	日光方面	京都方面	1泊2日	2泊3日	4泊5日	
小 学 部	2	1	—	—	3	—	—	22
中 学 部	2	7	1	—	3	7	—	151
高 等 部	—	—	—	1	—	—	1	22
計	4	8	1	1	6	7	1	195